（様式1）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 045	**提案機関名**	農業技術センター三浦半島地区事務所

要望問題名

ネギ、タマネギの作期拡大について

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

三浦半島では温暖な気候を利用して大根、キャベツなど冬春野菜前進栽培、裸地栽培が行われている。

大根、キャベツの価格が低迷する中、ネギやタマネギなどの前進栽培の可能性についての検討を希望する。ネギは5月どり、タマネギは1～5月どりの作型で栽培品種、肥効特性の他、被覆資材の種類、被覆期間および無被覆栽培の可能性などについて明らかにし、地域性を活かした作型の開発、生産安定化を目指す。

ネギ作付面積(h19)　　三浦市 14ha／横須賀市3ha／葉山町1ha

タマネギ作付面積(h19)　三浦市　1ha／横須賀市2ha／葉山町1ha

解決希望年限	①1年以内　[②2～3年以内]　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	[①農業技術センター]　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター

備　考

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター三浦半島地区事務所	**担当部所**	研究課

対応区分	[①実施]　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）

三浦の気象条件と消費者ニーズに対応した新作物の検索・新作型の開発

対応の内容等

ネギについては、野菜茶業研究所が開発したコンパクトネギのうち晩抽性品種を用い、無被覆により4～5月どりネギの作型開発をおこなう。

タマネギについては、極早生品種を用い、早期播種、冬期の被覆方法などについて検討し、1～2月どり作型の開発をおこなう。

解決予定年限	①1年以内　②2～3年以内　[③4～5年以内]　④5～10年以内

備　考